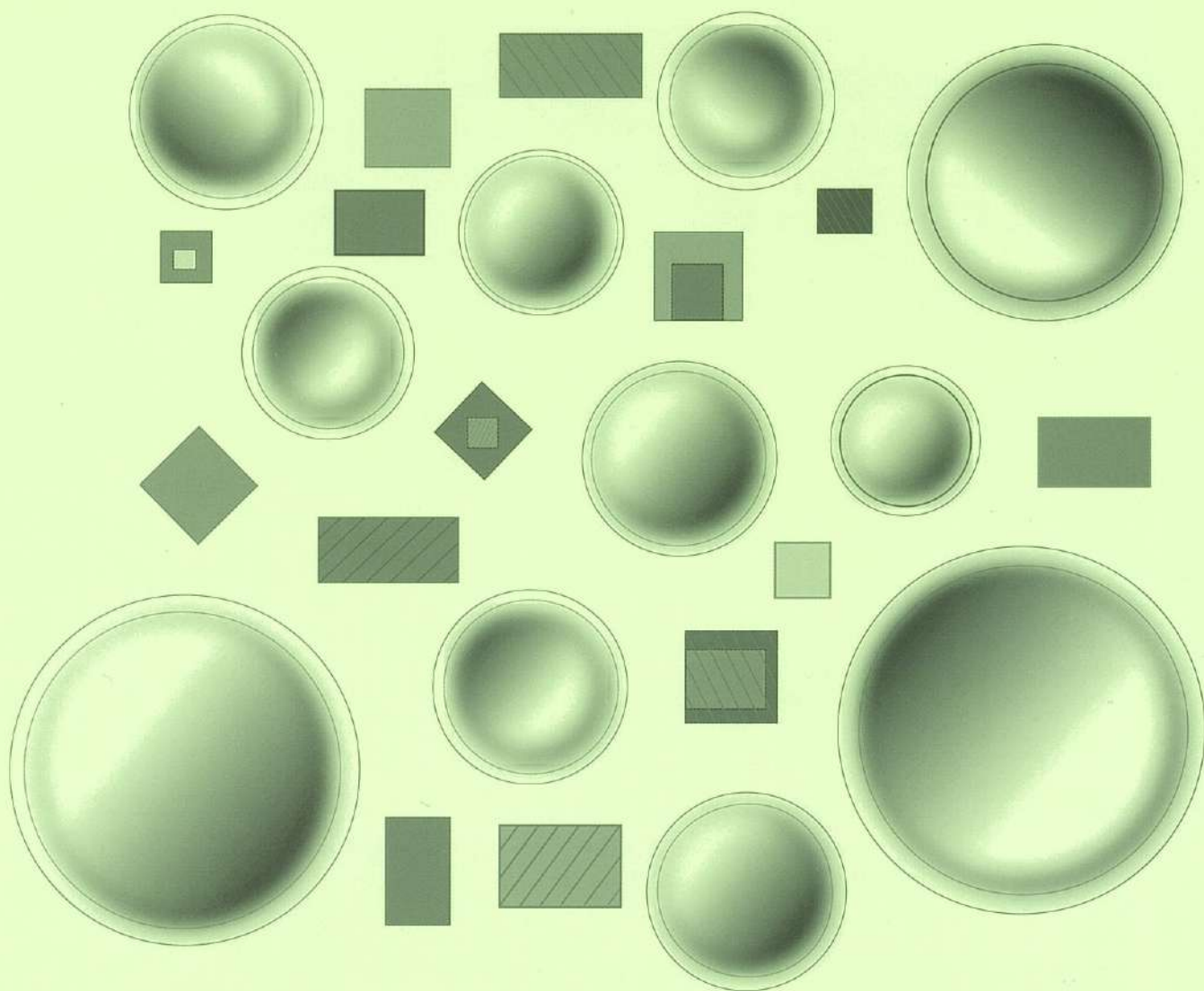


PEARLCREAT

界面系セメント起泡剤

パールクリート



DAIICHI KASEI SANGYO CO.,LTD.

パールクリートは気泡の安定性に優れた 界面活性剤系セメント起泡剤です

パールクリートは低温時においても発泡性能を維持し、セメント混合前後において気泡径がほぼ変わること無く、細かい状態で存在し、より強固で安定な気泡を保持します。

また、標準使用濃度は20倍希釈で20倍発泡にして用いるため、少量の起泡剤で多量の気泡を作成することができます。

パールクリートは、厳格な品質管理を行っておりますので、安心してご使用いただけるものと確信しております。

パールクリートの特徴

- ◎ 気泡が強靱で安定性に優れています。
- ◎ ブリーディングがほとんどありません。
- ◎ 柔らかで強靱な気泡により優れた流動性を与え長距離圧送が可能です。
- ◎ 高温時及び低温時においても優れた起泡性と気泡安定性が得られます。
- ◎ 断熱性や防音性に優れ、なめらかな面を持つ硬化体を得ることができます。

パールクリートの用途

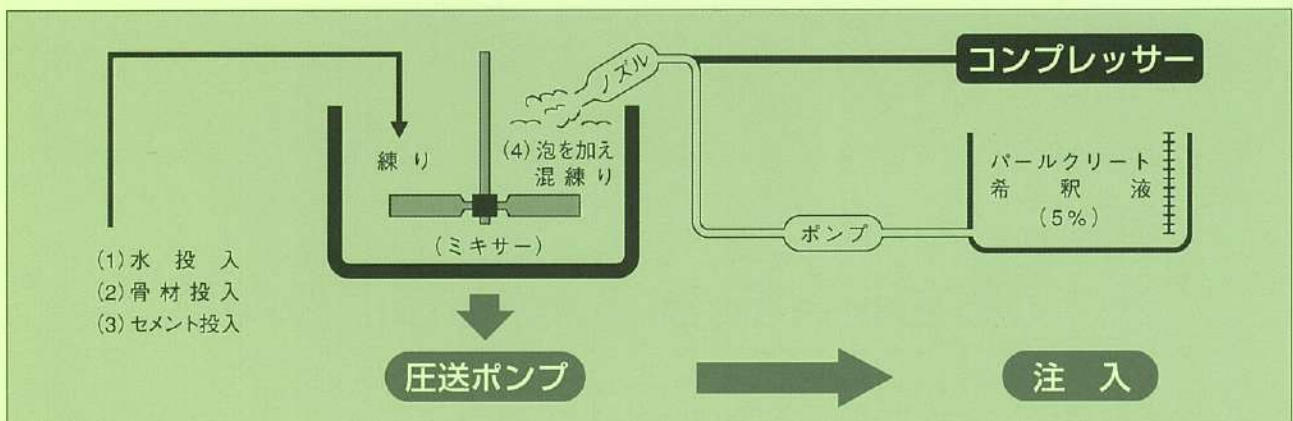
- ◎ トンネル坑口等の軽量盛土
- ◎ 道路拡幅等の軽量盛土
- ◎ トンネルの裏込め
- ◎ 地盤沈下、落盤等によりできた空洞充填
- ◎ 廃止管、防空壕等の空隙充填
- ◎ コンクリート背面等の空隙充填
- ◎ 屋上スラグ・防水押さえと嵩上げ
- ◎ デッキプレート防水下地、土間打ち
- ◎ 建設用軽量パネル、断熱材
- ◎ シールド工事における注入材

物性及び主成分

外観	比重 (20℃)	pH (20℃)	主成分
淡黄色透明液体	1.00～1.05	7.0～8.5	アニオン系界面活性剤

混練り方法

ノズル方式：ミキサーでモルタル又はミルクを練り、更に特殊ノズルより作った気泡を加えて混練りをして下さい。(注：ノズルの出口はスラリーの中に入れて下さい。)



パールクリート配合例

エアームルク・エアームルタルの配合例 (1m³当り、ノズル方式)

(フロー値 180±20mm)

配合 C:S	圧縮強度 4週 (N/mm ²)	セメント量 (kg)	砂量 (kg)	水量 (kg)	パールクリート希釈液		空気量 (%)	生比重	W/C (%)
					パールクリート(L)	希釈水(L)			
1:0	0.8	270	0	180	2.08	39.52	70	0.49	81
	1.0	300	0	185	2.05	38.95	68	0.52	75
	2.0	400	0	210	1.91	36.29	63	0.64	62
1:1	0.8	230	230	180	1.89	35.91	62	0.67	94
	1.0	250	250	190	1.83	34.77	60	0.72	90
	2.0	330	330	210	1.58	30.02	51	0.90	73
1:2	1.6	250	500	181	1.60	30.40	51	0.96	85
	3.0	300	600	204	1.41	26.79	44	1.13	77
1:3	2.3	250	750	197	1.31	24.89	41	1.22	89
	4.0	300	900	232	1.04	19.76	30	1.45	84

セメント；普通ポルトランドセメント（比重3.16）

砂；細目砂（FM2.0、比重2.52）

パールクリート希釈率；5%（V/V）（20倍希釈）

気泡容積重量=50g/L（20倍発泡）

[試験方法]

生比重の測定

1Lマスで容器重量を差し引いた試料の重量を測定し、次の計算式により算出します。

$$\text{生比重} = (W - W_0) / 1000$$

W = 気泡モルタル 1L 重量 + 1L マス容器重量

W₀ = 1L マス容器重量

フロー値の測定

φ8 cm × 8 cm 円筒コーンに試料を入れ、それを引き上げた時抜がる長・短径の平均値を測定します。

空気量の測定（アルコール法）

500cc のメスシリンダーに試料 200cc を取り、水を 200cc 加えて充分振って泡を分離させ、アルコール 100cc を滴下し完全に消泡させた後、メスシリンダーの目盛により、次の計算式より算出します。

$$\text{空気量} = (500\text{cc} - \text{シリンダーの目盛}) \div 200\text{cc} \times 100 (\%)$$

圧縮強度の測定

3連型枠（4×4×16 cm）を使用して供試体を作製し、湿空（20±3℃、90%）養生後、JIS 法により測定します。

使用及び取扱上の注意事項

1. 他の薬剤とは混合しないでください。また、生活廃水など、界面活性剤・油分を含んだ水や硬度の高い水は使用しないでください。
2. 一部使用した場合必ず密封し、なるべく直射日光のあたらない場所（0℃～+35℃）に保管し、保管中は水・その他異物混入を避けてください。
3. 使用有効期限は未開封、上記保管条件で納入後6ヶ月とします。
4. 不要になった場合は産業廃棄物として処理してください。
5. 目に入れたり、飲み込んだりしないでください。
6. 応急処置
 - ①皮膚に触れた場合；石鹼を使用してきれいな水で洗浄してください。
 - ②目に入った場合；きれいな水で洗浄してください。必要な場合は眼科医の手当てを受けてください。
 - ③飲み込んだ場合；水道水でよく口の中を洗浄してください。
必要があれば指を喉に差し込んで吐き出させ医療処置を受けてください。

荷 姿 18kg/缶 200kg/ドラム缶 1,000kg/コンテナ



第一化成産業株式会社

<http://www.d-kasei.co.jp>

本 社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1(ニュー九段ビル)
TEL. 03(3264)8221(代表) FAX. 03(3264)8228

川越工場・技術開発グループ

〒350-1165 埼玉県川越市南台 1-6-4
TEL. 049(242)7785(代表) FAX. 049(244)2934

販売店